

☆世界

綿花見通し 世界の綿花消費、冷え込む見通し——2011/12年度

国際綿花諮問委員会（ICAC）によると、世界経済成長の減速の影響を受け、2011/12年度の綿花消費は冷え込むと見られる。

2011/12年度の世界のミル消費は、約2,460万トンで落ち着くと予想される。世界のミル消費の3分の2を占める中国、インド、パキスタンでは、前年比1%増の微増となる見通し。

消費が低迷する一方で、2011/12年度の世界の綿花生産は、昨年の綿花価格高騰を受け作付面積が拡大することから、2004/05年度以来最高の約2,690万トン（前年比8%増）となる見通し。ただし平均イールド（単位面積当たりの収穫高）は僅かにヘクタール当たり745kgの微増と予想されている。生産増加の牽引役は主に中国及びインドで、パキスタン、オーストラリア、フランス語圏アフリカ、トルコでも大幅に増加すると見られる。一方で、南西部が深刻な干ばつ被害を受けた米国は、前年比12%減の見込み。

2011/12年度の世界の綿花貿易は、中国の輸入増によって前年比2%増と僅かに増加する見通し。オーストラリア及びブラジルの輸出が、それぞれ90万トン、80万トンと、記録的な水準にまで増加し、インドの輸出が110万トンで安定する一方で、米国の輸出は生産量の減少に伴い前年比23%減の240万トンと予想されている。

生産が消費を230万トンほど上回るため、2011/12年度の世界の期末在庫は、前年から227万トン近く増加し1,130万トンとなる見通し。2011/12年度の中国を除く世界の在庫率（在庫/消費）は、前年度の46%から55%まで回復し、これによりCotlook A インデックス（綿花価格の指標）は大幅に落ち込むと予想される。

世界の綿花需給見通し

(100万トン)

	2009/10	2010/11	2011/12
生産	22.2	24.9	26.9
消費	25.3	24.5	24.6
輸出	7.8	7.6	7.8
期末在庫	8.7	9.0	11.3
価格*	0.78	1.64	

*Cotlook A インデックス (ドル/ポンド)

☆中国

繊維業況

2011年第3四半期の業績、安定も減速

10月31日、中国紡織工業協会は2011年第3四半期の中国繊維業界の業況分析と年間動向見通しを発表した。

同報告によると、2011年第3四半期の中国繊維業界全体の業況は安定したものであったが、綿花等原材料価格の高騰、人民元高などをうけて、生産・販売の伸びは減速、繊維品輸出額の伸びは高かったが、数量的な伸びは鈍化した。

- ①生産・販売：2011年1～9月の繊維生産高は前年同期比28.98%増、この伸びは第1四半期と比べて2.64ポイント下がっている。繊維企業販売高は同29.22%増、うち国内販売高は同32.4%増。内需比率は82.67%と前年同期比1.77ポイント上がった。
- ②投資：1～9月の繊維業界全体の実際完成固定資産投資総額は前年同期比36.19%増。中西部地区の投資の伸びは高く、中部、西部地区の投資はそれぞれ同57.24%増、49.29%増と、繊維業界全体の投資平均水準を上回っている。
- ③繊維輸出：1～9月の繊維品輸出額は前年同期比24.26%増の1,861億ドルとなった。
- ④国内市場の成長：1～9月の社会消費品小売総額は前年同期比17%増で、うちアパレルは同24.8%増であった。
- ⑤労働生産率・利益：1～8月、繊維企業の労働生産率は一人あたり51.53万元（8.2万ドル）と前年同期比21.30%増。1～8月、実現利益総額は同36.37%増と高い伸びであったが、第1四半期よりその伸びは17.2ポイント下回った。1～8月の業界全体の利益率は4.99%と同0.23ポイント上がった。
- ⑥今年第4四半期の業況に影響を与える主な要因：綿花価格の高騰に加え、先進国の財政赤字及び債務問題悪化、新興市場、先進国のインフレ蔓延など、世界経済の回復は持続性を欠いている。また、このまま人民元高ドル安が続けば、繊維品輸出の競争力を弱めかねない懸念がある。

以上